学校番号	3031

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ （文科）	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校数学科用「数学Ｂ」,「数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ｂ，サクシード数学Ｃ　（数研出版） キートレーニング数学演習　Ⅰ・Ⅱ・A・B・C［ベクトル］（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①授業用ノートと問題集用ノートを準備する。
②授業を受け、疑問点があればその内容を授業者や周囲の生徒に質問、理解する。
③授業で学習した範囲のサクシード問題集を問題集用ノートに解答する。
④③での疑問点があれば②と同様に直ちに解決する。
⑤自分の実力を理解し、それぞれの習熟度に合った課題を設定して自主的な学習を行う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
各単元の基本的な概念、知識を理解し、サクシード問題集のＡ・Ｂ問題を難なく解答できる。
【思考力、判断力、表現力等】
分野横断型の問題について、利用すべき知識を適切に選択し、解答できる。
【学びに向かう力、人間性等】
単元の内容に興味を示し、自ら新たな問いを考えることができる。また、必要に応じて他者と協働して理解を深めることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各単元の基本的な概念と知識を理解している。 また、それらを用いて基礎的な内容を適切に処理できる。	各単元の知識を用いて問題を論理的に考察し、その過程を表現することができる。また、分野横断型の問題を多角的に分析して用いるべき知識を適切に判断し、利用することができる。	各単元の内容に興味を示し、積極的に理解しようとする態度を身に付けている。 必要に応じて他者の力を借りつつ問題を解決しようとする態度を身に付けている。 単元の途中や終わりに取り組みを振り返り、理解の不十分な点を分析し、今後の学習につなげようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	式と曲線	放物線 楕円 双曲線 2 次曲線の平行移動 2 次曲線と直線 2 次曲線の性質 曲線の媒介変数表示	a:放物線の式との焦点、準線、及び楕円、双曲線の式と焦点の関係がわかる。2 次曲線と直線の位置関係がわかる。極座標と直交座標の関係がわかる。 b:x，y の 2 次方程式を変形して，その方程式が表す図形を考察することができる。放物線，楕円，双曲線を離心率 e と 1 との大小関係で統一的に取り扱うことができる。 c: 発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式と乗法・除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	a:数学Ⅱで学習した複素数の性質を理解した上で、複素数の絶対値、極形式、ド・モアブルの定理、複素数平面上の図形について理解している。 b:複素数の極形式を用いて、点の回転移動を行うことができる。複素数の偏角や絶対値に着目することにより、図形に関する考察ができる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
	関数	分数関数 無理関数	a: 分数関数、無理関数の定義を理解し，そのグラフをかくことができる。 b:グラフを利用して方程式や不等式の解について考えることができる。 c: 発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題

	統計的な推測	確率変数と確率分布 確率変数の期待値と分散 確率変数の変換 確率変数の和と期待値 独立な確率変数と期待値・分散 二項分布 正規分布 母集団と標本 標本平均とその分布 推定 仮説検定	a:確率変数、確率分布、確率変数の期待値、分散、標準偏差、確率変数の変換、確率変数の和・積、二項分布、正規分布について理解している。母集団と標本、推定、仮説検定についての基本的な用語を理解している。 b:母平均、母比率の推定ができる。仮説検定を行うことができる。 c:発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
後期	Ⅰ演習	数と式 ２次関数 図形と計量 データの分析 場合の数と確率 図形の性質	a:各単元の基本的な事項を理解している。基本的な計算ができる。 b:各単元の知識を活用し、発展的な問題を解くことができる。また、既習の知識を組み合わせて数学的に考察することができる。 c: 発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題
	Ⅱ演習	複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法・積分法	a:各単元の基本的な事項を理解している。基本的な計算ができる。 b:各単元の知識を活用し、発展的な問題を解くことができる。また、既習の知識を組み合わせて数学的に考察することができる。 c: 発展的な内容に興味を持つ。疑問を積極的に解消しようとする。	考査 小テスト	考査 授業内の諸活動	提出物 授業内の諸活動 任意提出の課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度